

(別紙1)

## 自己評価及び外部評価 結果

作成日 平成31年4月14日

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                  |            |           |
|---------|------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2771101181       |            |           |
| 法人名     | 有限会社 清寿会         |            |           |
| 事業所名    | グループホーム正寿苑       |            |           |
| サービス種類  | 介護予防認知症対応型共同生活介護 |            |           |
| 所在地     | 岸和田市稲葉町2552-2    |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成31年2月26日       | 評価結果市町村受理日 | 令和元年5月16日 |

### 【事業所基本情報】

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/27/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/27/index.php</a> |
| 情報提供票を活用する場合              | (別添情報提供票のとおり)   |

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 評価機関あんしん |
| 所在地   | 大阪府岸和田市三田町1278番地の2 |
| 訪問調査日 | 平成31年3月18日         |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周りは山や緑に囲まれて自然豊かである。庭には季節を感じる木々や花があり日当たりの良いテラスを設置し天候の良い日は日光浴やバーベキューなど楽しむことができます。  
一緒に調理や洗濯をしながら笑い声が聞こえてきて、個別に得意なことを活かして頂けるよう支援しています。スタッフの年齢も幅広く利用者や家族のような光景も良く見られます。  
開設して17年経ちますが数名のスタッフは当初より変わらず利用者の個性を大切にしています。日々の暮らしぶりや健康状態などを家族に毎月写真を付けて送っており、「毎月楽しみにしている」との声も聞いています。  
穏やかで笑顔がある暮らしを伝えて安心して頂けるよう努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

法人理念に沿って、人格の尊重や希望とゆとりのある暮らしを目指し、利用者やその家族、職員が笑顔で過ごし、なんでも話し合えるような関係が構築できるように取り組んでいる。  
日当たりが良く広い苑庭では日光浴ができ、庭の畑では季節の野菜を栽培している。利用者は職員と一緒に旬の野菜を収穫し調理している。食事は手作りで、利用者と職員はテーブルを囲み、会話しながら食事を楽しみアットホームな環境で過している。積川神社への初詣や花見には久米田池やリサイクルセンターなどに出かけている。他に、近隣のスーパーマーケット等に買い出しに行き、時にはソフトクリームやたこ焼きを食べることもある。  
災害対策として、地域の事業所間の繋がりが強く、昨年度の台風被害では、互いの事業所で支援できることを電話連絡などで連携し合い相互協力体制が築けている。ランタンや乾電池の他、食料や飲料水は3日分を備蓄している。  
積極的に看取り介護を行うにあたり、協力医療機関とは24時間体制で連携を図ることができる。職員4名が喀痰吸引等研修を修了している。

| 自己評価               | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|--------------------|------|---|--|--|--|
|                    |      |   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |   |  |  |  |
| 1                  | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                   | 法人理念は各棟の玄関に掲げている。普段より朝礼時に理念に基づいた人格や希望、ゆとりを基本にして話し合っている。今回の外部評価を機会に朝礼で皆で声を出して読むようにしている。 | 事務所と各ユニットに法人理念を掲示し、毎朝礼時に全職員が唱和することで理念を意識づけている。人格の尊重やゆとりのある暮らしを考え、日頃のケアに反映ができるように努めている。   |  |
| 2                  | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 近隣に住宅が少なく日常的にはないが町内の行事などお知らせして頂いており、できるだけ参加するようにしている。近隣の方が野菜や果物など持って来られる。              | 自治会に加入し、利用者は職員と一緒に町内の盆踊りや行事に参加している。また、職員は清掃活動で地域の溝掃除を行っている。地域の住民が収穫した野菜や果物を持って来てくれるなど、良好な関係を築いている。   |  |
| 3                  |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 今年度は実施していないが過去地域の方向けに認知症についての研修を行った。地域の代表の方とはいつでも相談や講師派遣できることを伝えている。                   |  |  |
| 4                  | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者の状況や行事の報告をしている。その内容から意見交換や地域の方からの情報を頂きサービスの向上に活かしている。                               | 運営推進会議は2ヶ月ごとに開催しており、地域の代表や市の担当者が参加している。時にはコミュニティーワーカーや市の介護相談員の参加もある。家族にも参加を呼び掛けている。事業所の行事や利用状況、地域の独居高齢者の状況など双方向的に話し合っている。議事録を残しているが、職員への周知がない。 | 運営推進会議で話し合った内容等について、議事録の回覧や朝礼等での報告など職員へ周知するための取り組みに期待する。 |

|   |   |  |  |  |   |
|---|---|--|--|--|---|
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携<br/>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。</p>   | <p>事故や相談事がある時は市町村に報告し助言を仰いでいる。介護保険事業者連絡会の運営会議に参加し情報交換しスタッフに速やかに伝えている。</p>                  | <p>市の担当者とは電話などで積極的に情報交換を行い、市や地域包括支援センターの担当者からネグレクト相談を受けることも多い。苑長は介護保険事業者連絡会の運営委員であり、市の担当者も参加しており意見交換の場となっている。</p>                                |   |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践<br/>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p> | <p>年2回、身体拘束の研修を行っている。又身体拘束適正化のための指針を作成し運営会議でも話し合っている。</p>                                  | <p>運営推進会議で身体的拘束適正委員会を設置し、話し合いや研修を実施している。身体拘束が疑われる言動があれば、その都度苑長がその職員を指導している。ユニットごとの出入口は施錠しているが、簡単に開けることができ、外出希望や帰宅願望があった場合は職員と一緒に付き添って出かけている。</p> |   |
| 7 |   | <p>○虐待防止の徹底<br/>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>                                   | <p>高齢者虐待については日々のカンファレンスなどで指導し不適切なケアについてもスタッフの認識できるように防止に努めている。</p>                         | /  | / |
| 8 |   | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用<br/>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>                             | <p>現在は制度を利用している利用者はいないが過去に数名いており実際に週に一度の面会や権利擁護では月に一度の面会を通じて理解し必要なかたについては包括を通じて相談している。</p> | /  | / |
| 9 |   | <p>○契約に関する説明と納得<br/>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>  | <p>契約前、契約時に説明し質問や疑問がないか確認し、入苑後も気軽に聞いて頂けるよう伝えている。</p>                                       | /  | / |

|    |   |   |   |  |   |
|----|---|---|---|--|---|
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br/>       利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                    | <p>苑長、ケアマネも介護職として利用者と接することが多く、家族においてもケアプラン説明時必ず意見や要望についてこちらから聞く様にしている。外部者に表せる機会については設けていない。</p> | <p>利用者からは日頃のケアの中で、家族からは来苑時にそれぞれの意見等を聴き取っている。朝礼や申し送りノートを活用し、職員間で情報の共有を図っている。<br/>       看取り介護を実施したり、家族会を開催するなど、これまで利用者や家族の要望を運営に反映している。</p> |   |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映<br/>       代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>                                | <p>各棟のミーティングに参加したり、毎朝の朝礼時に意見や提案を聞いている。又介護職として仕事しながら話す機会も多い。聞いた内容についてはできるだけ反映するようにしている。</p>      | <p>苑長や管理者は日頃から職員が意見を言いやすい環境を整えている。必要に応じて随時、職員との個人面談を行うこともある。<br/>       外出行事の提案から物品の購入、また懐かしい番組をいつでも観ることができるシステムの導入など様々な意見を運営に反映している。</p>  |   |
| 12 |   | <p>○就業環境の整備<br/>       代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>    | <p>シフトは代表が各職員の状況を把握し希望を聞いて作成に努めている。キャリアパスを導入に資格や年数に応じて職能手当を支給している。</p>                          | /  | / |
| 13 |   | <p>○職員を育てる取組み<br/>       代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>        | <p>内部、外部研修を受講できるように努めている。働きながら資格を取得できるよう協力や助言している。</p>  | /  | / |
| 14 |   | <p>○同業者との交流を通じた向上<br/>       代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>岸和田市介護保険事業者連絡会などを通じて交流している。岸和田市のGH同士で情報交換会を行っている。災害時などには各施設で助け合い近くの特養に緊急避難をさせて頂く事もありました。</p> | /  | / |

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

|    |   |  |  |  |
|----|---|--|--|--|
| 15 | <p>○初期に築く本人との信頼関係<br/>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>                | <p>利用開始前に苑に来ていただき一緒に時間を過ごして頂くようにしている。1～2日の無料体験も可能で本人の思いや不安を受け止めてるようになっている。</p>               |  |  |
| 16 | <p>○初期に築く家族等との信頼関係<br/>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービス利用前に本人や家族の状況、生活歴や習慣、要望をお聞きした上で本人や家族が安心して暮らせるよう努めている。</p>                              |  |  |
| 17 | <p>○初期対応の見極めと支援<br/>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>          | <p>見学や相談の時点で困っていることなど、状態をお聞きして当GHだけではなく他サービスの情報提供して安心できる様努めている。</p>                          |  |  |
| 18 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係<br/>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>                             | <p>日々の生活、会話の中でから本人の出来ることを役割として一緒に行うように支援し、若い職員が知らないことを利用者から学ぶなど、関係を築いている。</p>                |  |  |
| 19 | <p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係<br/>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>           | <p>毎月、各担当している利用者の家族に「状況報告」として写真入りのお手紙を送って、家族も楽しみにされている。家族来苑時は本人も交えて一緒にお話しするなど関係づくりをしている。</p> |  |  |

|    |   |   |  |   |  |
|----|---|---|--|---|--|
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場と関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 家族の協力を得て家へ外出し墓参りや祭りなどで近所の方と交流、以前の住居の近隣の方や民生委員さんが定期的に来苑されている方もおられる。 | 家族の協力を得て、帰宅や墓参りができるように支援している。また、馴染みの民生委員が、以前住んでいた家の近くの知り合いを事業所に連れてきてくれる。<br>毎日食材を届けに来る配達員との会話を楽しみにしている利用者が多く、新たな馴染みの関係となっている。 |  |
| 21 |   | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | 本人の状態に応じて利用者同士がトラブルにならないよう会話などに気をつけて見守りしている。                       |   |  |
| 22 |   | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス終了後も来苑され、本人の状況をお聞きしたり他施設に入所や入院後も面会に行きお話をさせて頂いている。              |   |  |

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

|    |   |  |   |  |  |
|----|---|--|---|--|--|
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の会話の中から本人や家族の希望や意向を聞き介護記録記入してカンファレンスやサービス担当者会議に活かしている。それを基に本人の思いに気づき、意見を交わしてケアプランに反映している。 | 利用者の希望や意向は、日頃の暮らしの中で聴き取っており、職員と2人きりの時に話してくれる利用者もいる。聴き取った要望は生活支援に記載し、職員間で情報を共有している。意思疎通が難しい利用者には、今までの生活歴から意向を汲み取ったり、話しかけたときの表情やしぐさから把握するように努めている。 |  |
| 24 |   | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める | 入苑前から本人と家族と会ってお話をする中で本人の思いや希望をお聞きしている。困難な場合は入苑し日々の暮らしや会話から気付いたことは記録し職員で情報を共有している。           |  |  |

|    |  |  |  |  |
|----|--|--|--|--|
| 25 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 本人の出来ること、少し手伝うことで出来ること、出来ないことを把握し自身を持ってできる様支援している。                                     |  |  |
| 26 | 10<br>○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 往診時、主治医や看護師にサービス担当者会議に出席して頂きケアや服薬について相談している。家族は日頃から要望を聞くことや3か月に一度のケアプラン作成時に意見をお聞きしている。 | 介護計画書は3ヶ月ごとにモニタリングし見直している。利用者や家族とは常日頃から意向や要望を聴き取るように努めている。毎週カンファレンスを開催しており、家族や介護職員、計画作成担当者が話し合い、それぞれの意向等を反映した介護計画書を作成している。 |  |
| 27 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                              | 週に一度カンファレンスを行い職員から気づきや検討すべき事などを話し合っている。日々の介護記録だけではなく申し送りノート、通院報告書、などの記録を活用しモニタリングしている。 |  |  |
| 28 | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                     | 家族の状況で出来ない場合は入退院の支援や必要な身の回りの物の購入、買い物、本人の希望があれば対応するように心掛けている。                           |  |  |
| 29 | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                               | 町内の行事(消防訓練など)や近くの施設の行事(盆踊り)などに参加させて頂いている。  |  |  |

|    |    |   |  |   |   |
|----|----|---|--|---|---|
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断<br/>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                                  | <p>入苑前にかかりつけ医から情報提供書を頂き、Drと家族が今後について話し合う場を持って頂くようにしている。定期受診前にはカンファレンスを開催し確実な情報をDrに伝えるようにしている。</p>  | <p>今までのかかりつけ医には家族との通院が基本となっているが、家族が通院できないときは、職員が通院の支援を行っている。入居後に協力医に変更した場合は、診察内容等を家族の来苑時または電話で報告している。受診前にカンファレンスを行い、日頃の様子などの情報を医師に確実に伝えられるようにしている。家族が通院した際の診察内容は口頭で聴き取っている。全ての診察内容は通院報告書に記載して職員間で情報を共有している。</p> |   |
| 31 |    | <p>○看護職員との協働<br/>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>                        | <p>毎週、訪問看護師が来られて健康管理をして頂いている。24時間体制で不安な時はオンコールで対応して頂いている。普段より利用者の状態で気付いた事や適切なケアを相談できる関係づくりができています。</p>                                       | /   | /   |
| 32 |    | <p>○入退院時の医療機関との協働<br/>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>   | <p>入院された場合は本人の情報、本人の生活の様子や家族の関係についても提供している。必要なものを準備してDr、CW、家族と連携し早期退院に向けて支援している。面会に行き本人の状態を確認して病院関係者と情報交換している。退院後も継続して治療が続けられるように支援している。</p> | /   | /   |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br/>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>職員はターミナルケアについて研修を受けており、重度化した場合は本人や家族の意向を聞き、主治医や医療関係者と連携し支援している。家族には十分に説明し延命治療についての意思確認書で要望を聞いている。又状況に応じて変更可能な事も伝えている。</p>                 | <p>医師の診断があつてから、関係者と話し合いをしている。急変時のマニュアルを作成しており、事務所に掲示している。個々の利用者の対応マニュアルは随時作成している。終末期の対応の方針(看取り介護の指針)等は作成中である。</p>   | <p>今後、積極的な看取り介護を行うにあたり、事業所での看取り介護の指針を作成し、文書による説明を行うことが望ましい。</p> |



|    |   |  |  |  |
|----|---|--|--|--|
| 34 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>急変時は連携している訪問看護師に24時間連絡とれる体制にしている。事故発生したときは必ず、代表、管理者に連絡し対応している。応急処置については定期的な訓練はしていないがベテラン職員により実践から学んでいる。</p> |  |  |
| 35 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>避難訓練を年2回実施している。実際に今年の台風被害の際は地域の方々、地域の事業所から協力して頂き、近くの施設に5日間緊急避難させて頂き安全に避難することができた。家族さまにもスムーズに連絡することができた。</p> | <p>避難訓練は、消防署の立ち合い訓練と自主訓練を年2回行っている。その内1回は、夜間想定である。地域住民は避難訓練に年1回程度の参加がある。災害時は、市内の他の事業所との間で協力体制ができており、物品の貸し借りや復旧長期化時の避難場所等の提供協力をしている。災害に備え、3日程度の食料品と飲料水、ランタンやカセットコンロ等を備蓄している。</p> |  |

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

|    |  |   |  |   |
|----|--|---|--|---|
| 36 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>                 | <p>日頃から言葉かけの中に不適切なケアとなることを伝えている。人格を尊重することは基本的であることを踏まえて個別に認知症の方への接し方の研修をしている。個人情報が入力されているパソコンソフトには各職員のパスワードを設定し入力や閲覧履歴もわかるようになっていく。</p> | <p>プライバシーに関する勉強会は個別に実施している。苑長や管理者は日頃から利用者の人格の尊重やプライバシーが確保できるようにその都度職員に指導をしている。計画的な研修が実施できていない。</p> | <p>事業所では、来年度(2019年度)より、外部の研修機関を通じ、年間計画を立てて研修を行っていく予定である。さらなる職員のスキルアップに期待する。</p> |
| 37 | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>                      | <p>家族や本人から今までの暮らしぶりや習慣、好まれていた物などを聞き、本人に寄り添いながら思いや希望に気付けるようにしている。継続してできることは自身で出来るよう支援している。</p>   |  |   |
| 38 | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>日々のおおまかなスケジュールはあるが利用者の状態やペースを考慮して無理なく過ごして頂く様支援している。カラオケ好きな人が数名いて楽しみになるようにしている。</p>   |  |   |

|    |  |   |  |  |
|----|--|---|--|--|
| 39 | <p>○身だしなみやおしゃれの支援<br/>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>                              | <p>起床時は整容や服装を整えて入浴準備の際や外出時など本人の好みの服聞くようにしている。入苑の際は今まで来ていた衣類を持ってきていただくよう家族にお願いしている。</p>  |  |  |
| 40 | <p>○食事を楽しむことのできる支援<br/>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>季節や行事に応じたメニュー作りをしている。個別の誕生日には本人の好むメニューを取り入れている。毎日ではないが野菜を切ったりお米を研いだり、洗い物などには積極的にして頂いている。本人が欲しい時に提供できるよう好みのものがあれば家族様が差し入れされて提供している。</p> | <p>食事は、職員が調理しており、利用者は、能力に応じて職員と一緒に、調理や食器洗いなどの準備や後片付けをしている。職員が釣ってきた魚や近隣住民が持ってきてくれた野菜や果物で食卓が大いに賑わうこともある。そうした食材の調理の過程を敢えて利用者に見てもらうことで、食事を目で楽しめるように工夫している。</p> |  |
| 41 | <p>○栄養摂取や水分確保の支援<br/>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      | <p>個別に毎食、食事や水分量を記録し一人一人のペースに応じて摂取できるようにしている。現往歴に応じてご飯量を図って提供したり夜間に空腹がある人にはパンやおにぎりなどを時間に関係なく提供している。コーヒーなどにはカロリーオフの砂糖をしようしている。</p>          |  |  |
| 42 | <p>○口腔内の清潔保持<br/>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>              | <p>殆どのかたが毎週往診歯科にて口腔ケアをして頂いている。毎食後介助や見守りし夜間は義歯を洗剤をしようし清潔保持に努めている。</p>  |  |  |

|    |    |   |  |   |  |
|----|----|---|--|---|--|
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援<br/>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>          | <p>個々の排泄パターンに応じて声掛けや介助を行っている。必要な時には夜間ポータブルの使用をし安全に排泄できるよう努めている。</p>  | <p>排泄表を用い、排泄パターンを把握し、失敗が減るように利用者それぞれに合わせたトイレ誘導を行っている。夜間はセンサーを利用し、速やかにトイレで排泄ができるように取組んでいる。便秘気味の利用者には、水分を多めに摂ったり、ヨーグルトや乳酸菌飲料の提供をしたり、日々の利用者の状態に合わせて対応している。</p> |  |
| 44 |    | <p>○便秘の予防と対応<br/>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>                          | <p>便秘については全スタッフが認識を持っている。排便については把握し記録している。水分や繊維の豊富な食べ物や体操、歩行で腸の働きが良くなるよう心掛けている。困難な方については薬や腹部マッサージを行っている。</p> |   |  |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援<br/>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>各利用者の希望で早く入りたい方やお湯の温度など考えている。日によって入浴剤の香りを変えて楽しんで頂いている。入浴がない日に希望される時は他棟のお風呂を利用して頂いている。</p>                 | <p>浴室は大きく広いため銭湯感覚が味わえ、複数人で入浴ができる。利用者間での会話が弾むなど、コミュニケーションが図れる場となっている。車いすの利用者は職員が2人で介助し浴槽で温まれるように支援している。入浴は、週3回を基本としているが、入浴やシャワーの希望があれば、対応している。</p>           |  |
| 46 |    | <p>○安眠や休息の支援<br/>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>                           | <p>今まで本人が使用していた慣れた寝具を持ってきて頂く様家族にお願いしている。夜間に良眠できるよう様に生活リズムを整える様に工夫している。天候が良ければ布団を干したりシーツの清潔に気を付けている。</p>      |   |  |

|    |   |   |  |  |
|----|---|---|--|--|
| 47 | <p>○服薬支援<br/>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>  | <p>個別に服用している薬の一覧表を作成しスタッフ間で情報の共有をしている。提携している薬局の薬剤師が定期的に来苑するので薬の疑問など相談できる体制にしている。症状の変化は常に主治医に報告して指示を仰いでいる。</p> |  |  |
| 48 | <p>○役割、楽しみごとの支援<br/>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>                             | <p>日常生活で個別に出来ることをして頂いている。買い物同行や調理や洗濯物に参加している。本人の嗜好に合わせてカラオケ、裁縫、時代劇などの個々に行っている。</p>                            |  |  |
| 49 | <p>○日常的な外出支援<br/>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p> | <p>近くの神社に初もうでや戎さんに行き地域の方と交流したりお弁当を作って季節の花を見に行くなどの支援をしている。家族の協力により自宅へ戻った際に近所や顔見知りの方との交流を継続されている方もおられる。</p>     | <p>晴れの日には、日常的に苑庭に出て日光浴をしている。また、近隣に多くのスーパーマーケットや市場がある為、利用者は職員と一緒に買い物に出かけている。その他、家族による外出が1・2ヶ月に1回程度ある。</p> |  |
| 50 | <p>○お金の所持や使うことの支援<br/>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>                             | <p>基本的には持っておらず、事務所で預かっていつでも使えることは常時伝えている。家族が紛失しても可能なことを了解している方は持って頂いている。</p>                                  |  |  |
| 51 | <p>○電話や手紙の支援<br/>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>   | <p>本人の希望があればいつでも使用して頂いている。友人や家族からの電話も取次している。年賀状や季節のはがきは本人に渡して職員と一緒に共感できる話題づくりをしている。</p>                       |  |  |

|    |    |   |  |  |  |
|----|----|---|--|--|--|
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>リビングは季節が感じられるように壁面づくりを利用者にも手伝って頂いている。日頃から写真を撮って展示して家族や来苑者に見てもらっている。毎朝各居室は換気、環境整備を行っている。</p>             | <p>利用者同士の相性を考慮して席を変更する等の環境づくりを行っている。廊下にソファがあり、みんなと離れて、利用者が一人で寛ぐことや仲の良い利用者同士で会話ができる。掲示している写真は毎月変更している。苑庭には、桃の木や桜、あじさいがあり、季節を感じられるようにしている。</p>           |  |
| 53 |    | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>  | <p>利用者の同士の関係やそれぞれの状態に応じてテーブル席は決めているが状況や本人の希望は取り入れている。テレビ前のソファでスタッフと雑談や昼寝をされる事もある。</p>                      |  |  |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>   | <p>入苑前に本人が在宅時使用していた物を持ってきて頂く様家族に説明し在宅時の生活習慣等を聞いて又本人のADLを考慮し安全に過ごして頂く様工夫している。定期的にタンスや押し入れの整理や衣替えを行っている。</p> | <p>布団、ベッド、タンスなどは持ち込み可能としており、使い慣れた馴染みのものを使用することができる。入居前に自宅を訪問し生活環境を把握し、利用者が使いやすいように家族と相談した上、家具等の配置を決めている。また、身体の状態の変化に合わせて、事業所で手すりの設置などを行い環境整備をしている。</p> |  |
| 55 |    | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>  | <p>各居室やリビングは安全で過ごしやすい環境整備を行っている。本人のペースに合わせて自立できるよう配慮している。</p>  |  |  |

| V アウトカム項目 |                                  |   |   |
|-----------|----------------------------------|---|---|
| 56        | 職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる       | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57        | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある         | ○ | ①毎日ある<br>②数日に1回ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                      |
| 58        | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59        | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60        | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている           | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |

|    |   |   |  |
|----|---|---|--|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                              | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている                     | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています           | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている                          | ○ | ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどいない                |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くない           |
| 66 | 職員は生き生きと働いている   | ○ | ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の3分の2くらいが<br>③職員の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない |
| 68 | 職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                          | ○ | ①ほぼ全ての家族が<br>②家族の3分の2くらいが<br>③家族の3分の1くらいが<br>④ほとんどできていない |